

令和4年1月28日 教育委員会報告事項についての質疑応答（要旨）

（報告）

ア 令和3年度移動教育委員会「語り合おう!はままつの教育」の開催結果について

※教育総務課長から資料に基づき説明

（安田委員）アンケート結果については、肯定的な意見が多く嬉しく思う。第2回で自分が出たグループは白熱した議論があった。個別の相談のような内容もあったが、裏を返せば同じような思いを持った人が他にもいるということだと思う。その意見に対して、教育委員会がどう対処したか、今後どう対応していくかを何らかの形で残していかないと、開催の意味が薄れてしまうのではないか。対応内容を見える形で残すことで、参加してみようと思う人が増える気がする。中には学校批判もあり、納得する部分もある一方、誤解をされている部分もあると感じた。もらった意見を包み隠さず見せていくことが大事であると思う。会議録は作成するか。

（教育総務課長）要点を記録したものを公開する予定である。

（安田委員）記録の中で、対応内容を整理するとよいと思う。

イ 浜松市情報モラル資料カリキュラム及び教材の公開について

※教育施設課 ICT 教育推進担当課長から資料に基づき説明

（意見無し）

ウ 令和3年度幼稚園教諭・保育士採用試験結果について

※幼児教育・保育課長から資料に基づき説明

（田中委員）保護者目線で考えると、経験の多い先生に見てもらうことに安心感を覚えるが、経験5年以上枠は応募者に対して採用者が毎年少ないように思う。理由はあるか。また、経験者の採用に関して現場の声があれば教えてほしい。

（幼児教育・保育課長）採用者数については、筆記試験・面接試験の結果から判断したものである。経験者の採用については、現場から大変有難いとの声がある一方、私立幼稚園のカリキュラムと公立幼稚園のカリキュラムの差に馴染めない人もいようだ。

エ 第3次浜松市子供読書活動推進計画の策定について

※中央図書館長から資料に基づき説明

(安田委員) 資料1の4ページの要望1で、図書館補助員の活動を広く知らせてほしいという嬉しい要望をいただき、計画内に項目を追加してもらえたことが良かった。学校図書館補助員を100%配置できていることは、評価されるべきことだと思うため、もう少し強調しても良いのではないか。また、学校との連携について述べられた部分にも図書館補助員のことが出てくるため、その部分との関連についても触れられるとよい。

(黒柳委員) 要望を見て、子供の読書に対して市民の関心が高いと感じた。ブックスタートを知らない保護者がまだおり、共働きをしていると時間が取れず参加できない人もいると思う。子育て世代に読書の大切さを伝えていく必要があると思う。図書館で実施されている電子図書は、どのくらい活用されているか。

(中央図書館長) 令和2年1月からはままつ電子図書を実施しており、現在は3400点ほどある。外国籍の人達への読書活動支援を目的に導入したものだったが、コロナ禍において来館せずに利用できるため、利用者傾向が変わってきた。子供向けの電子図書も充実させていく予定である。

(黒柳委員) 電子図書を活用しながら、高校生大学生の本離れを防ぐことができればいいなと思う。